

| | | | | | | |
|---|--|-------|-------------------------------|-----------------------|------------------------------|-------|
| 苫小牧工業高等専門学校 | | 開講年度 | 平成29年度 (2017年度) | 授業科目 | 景観工学 | |
| 科目基礎情報 | | | | | | |
| 科目番号 | K5-6600 | | 科目区分 | 専門 / 必修 | | |
| 授業形態 | 授業 | | 単位の種別と単位数 | 学修単位: 1 | | |
| 開設学科 | 環境都市工学科 | | 対象学年 | 5 | | |
| 開設期 | 後期 | | 週時間数 | 後期:2 | | |
| 教科書/教材 | | | | | | |
| 担当教員 | 下村 光弘 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | | |
| 1. 景観を工学として取り扱うことができることを説明できる。 2. 景観を客観的に分析する手法を説明できる。 3. 道路景観に関する設計ポイントを説明できる。 4. 身近な景観を題材としてレポートを作成し、プレゼンテーションできる。 | | | | | | |
| ルーブリック | | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | | 標準的な到達レベルの目安 | | 未到達レベルの目安 | |
| 景観を工学として取り扱うことができることを説明できる。 | 景観を工学として取り扱うことができることを説明できる。 | | 景観を工学として取り扱うことができることを概ね説明できる。 | | 景観を工学として取り扱うことができない。 | |
| 景観を客観的に分析する手法を説明できる。 | 景観を客観的に分析する手法を説明できる。 | | 景観を客観的に分析する手法を概ね説明できる。 | | 景観を客観的に分析する手法を説明できない。 | |
| 景観を客観的に分析する手法を説明できる。 | 景観を客観的に分析する手法を説明できる。 | | 景観を客観的に分析する手法を概ね説明できる。 | | 景観を客観的に分析する手法を説明できない。 | |
| 身近な景観を題材としてレポートを作成し、プレゼンテーションできる。 | 身近な景観を題材としてレポートを作成し、プレゼンテーションできる。 | | 身近な景観を題材としてレポートを作成できる。 | | 身近な景観を題材としてレポートを作成できない。 | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | | |
| J A B E E 基準 1 学習・教育到達目標 (d)(1) 専門工学 (工学 (融合複合・新領域) における専門工学の内容は申請高等教育機関が規定するものとする) の知識と能力 J A B E E 基準 1 学習・教育到達目標 (d)(4) (工学) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を解決し、適切に対応する基礎的な能力 J A B E E 基準 1 学習・教育到達目標 (e) 種々の科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力 環境都市工学科の学習・教育到達目標 2 ものづくりに関係する工学分野のうち、道路工学、施工管理学、環境衛生工学、橋梁工学、環境都市工学設計製図、卒業研究などを通して、得意とする専門領域を持ち、その技術を実践できる能力を身につける 学習目標 II 実践性 学校目標 E (継続的学習) 技術者としての自覚を持ち、自主的、継続的に学習できる能力を身につける 本科の点検項目 E - ii 工学知識、技術の修得を通して、継続的に学習することができる 学校目標 F (専門の実践技術) ものづくりに関係する工学分野のうち、得意とする専門領域を持ち、その技術を実践できる能力を身につける 本科の点検項目 F - i ものづくりや環境に関係する工学分野のうち、専門とする分野の知識を持ち、基本的な問題を解くことができる | | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | | |
| 概要 | 土木構造物に求められている周辺の環境や風景に調和させられる方法の基本的事項を教授する。あわせて、景観設計の概要、景観に関する調査方法を解説し、「良い景観」を解説する | | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 授業は教員の説明を中心に進めます。到達目標に対する達成度試験を複数回実施します。成績は学期末試験 (50%)、平素の学習状況 (課題・達成度試験) (50%) | | | | | |
| 注意点 | 授業で配布する資料等も参考に自学自習に取り組むこと (15時間の自学自習が必要です)。 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | |
| 後期 | 3rdQ | 週 | 授業内容 | | 週ごとの到達目標 | |
| | | 1週 | 景観の概念 (1) | | 景観の概念及び客観的に分析できることを理解している。 | |
| | | 2週 | 景観の概念 (2) | | 景観の概念及び客観的に分析できることを理解している。 | |
| | | 3週 | 操作論的景観論 | | 景観の種類、景観把握モデルを理解している。 | |
| | | 4週 | 景観把握モデル | | 景観の種類、景観把握モデルを理解している。 | |
| | | 5週 | 景観分析の手法 (1) | | 景観分析の基本的事項を理解している。 | |
| | | 6週 | 景観分析の手法 (2) | | 景観分析の基本的事項を理解している。 | |
| | | 7週 | 景観の予測 | | 景観の予測方法について理解している。 | |
| | 8週 | 景観の評価 | | 景観の評価方法について理解している。 | | |
| | 4thQ | 9週 | 道路景観 (1) | | 道路の良い景観について説明できる。 | |
| | | 10週 | 道路景観 (2) | | 道路の良い景観について説明できる。 | |
| | | 11週 | 道路景観 (3) | | 道路の良い景観について説明できる。 | |
| | | 12週 | 道路景観 (4) | | 道路の良い景観について説明できる。 | |
| | | 13週 | 課題のプレゼンテーション (1) | | 景観に関するレポートを作成し、プレゼンテーションできる。 | |
| | | 14週 | 課題のプレゼンテーション (2) | | 景観に関するレポートを作成し、プレゼンテーションできる。 | |
| | | 15週 | 課題のプレゼンテーション (3) | | 景観に関するレポートを作成し、プレゼンテーションできる。 | |
| 16週 | | | | | | |
| モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標 | | | | | | |
| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 | |
| 専門的能力 | 分野別の専門工学 | 建設系分野 | 計画 | 風景、景観と景観要素について、説明できる。 | 4 | 後1,後2 |
| 評価割合 | | | | | | |
| | 試験 | 到達度試験 | 課題等 | 合計 | | |

| | | | | |
|--------|----|----|----|-----|
| 総合評価割合 | 50 | 30 | 20 | 100 |
| 基礎的能力 | 30 | 20 | 10 | 60 |
| 専門的能力 | 20 | 10 | 10 | 40 |